

【2/28@東京】 JMA-JDN セミナー

Universal Health Coverage – 国際保健と日本 –

外務省国際保健政策室から渡部明人先生をお招きし、ユニバーサル・ヘルスカバレッジ(UHC)や国際保健外交について、国際社会の現状と日本の取り組みを紹介して頂きます。

第2部では国際保健・公衆衛生のキャリア、キャリア形成の戦略として、

バヌアツ共和国での政策立案、英国大学院への留学、現在の外務省での外交の仕事についてご紹介いただき、国際保健・公衆衛生における医師のキャリアパスについてお話をお聞きする予定です。

- ・平成27年2月28日（土） 14:00～18:00
- ・場所： 東京女子医科大学 400講義室
- ・対象： 医師・医学生 約50名
- ・参加費： 無料 *終了後に講師を囲んで懇親会を予定しています(実費)
- ・事前申し込み：不要

講師 渡部明人先生のご紹介

北里大学医学部医学科卒業、医師。

2008年より国立国際医療センター（現：独立行政法人国立国際医療研究センター）総合診療科に勤務。2011年よりバヌアツ共和国保健省にて、公衆衛生医師としてプライマリー・ヘルス・ケア、ヘルスプロモーション等の保健政策策定に従事。

2013年ロンドン大学公衆衛生熱帯医学大学院及び経済政治科学大学院修士課程修了（保健政策・計画・財政）。2013年より現職。

企画： 日本医師会 Junior Doctors Network (JMA - JDN)
国際医学生連盟 日本 (IFMSA - Japan)

■■■日本医師会 Junior Doctors Network (JDN) とは■■■

2012年10月に日本医師会国際保健検討委員会若手医師・医学生分科委員会のもとに設置された若手医師有志のプラットフォームです。詳しくは、「JMA-JDN」で検索してください。

Universal Health Coverage 国際保健と日本

その1.ユニバーサル・ヘルス・カバレッジとは？

地球上の「すべての人に健康を」を合言葉に
WHO・国際連合はじめ、国際社会が目指している
基礎的な保健医療サービスシステム。

日本の外務省は、2013年の国際保健外交戦略でUHCを
重要課題と位置づけ活動を行っている。

＊UHC:全ての人が基礎的な保健サービスを必要な時に負担可能な費用で受けられる状態

その2. 国際保健・公衆衛生のキャリアとは？



渡部先生は、学生時代にWHOインターンをされ、
後期研修医時にバヌアツ共和国保健省で公衆衛生
医師として勤務されました。

英国大学院で熱帯医学・保健政策の修士過程を
修了され、現在は、外務省にてUHCに関わって
おられます。渡部先生に、国際保健・公衆衛生
に関わるキャリアについてご紹介頂きます。

●講師●

渡部明人先生

日時：2月28日(土)14時～18時

場所：東京女子医科大学400講義室

対象：医師・医学生

参加費：無料 ＊懇親会は実費

企画：日本医師会JDN x IFMSA

